



私たちは環境と福祉を考え、健全なモーター・ライフを応援しています。

**Market Column**

**クルマの整備・修理等の支出は  
10年間で12%も増加**

自動車にかかるおカネが、かなり変化しています。ここ10年ほどの家計支出に目を向けると、あきらかに自動車の購入から整備・修理へのシフトがうかがえます。総務省統計局の「家計調査年報」をみると、それを裏付ける興味深いデータが浮かび上がってきました。

まず1世帯が消費のために使う1カ月間のおカネをみると、1993年には33万5246円でしたが、2003年には30万2623円。月に3万円以上も支出が減っています。これにあわせて、自動車の購入にかかる費用(全世帯の月平均)も93年の6671円から03年には5944円に。約700円の減少です。比率にすれば10%以上も減っているのです。

**1世帯当たり1カ月間の支出**

|         | 1993年    | 2003年    |
|---------|----------|----------|
| 消費支出    | 335,246円 | 302,623円 |
| 自動車(購入) | 6,671円   | 5,944円   |
| 自動車等維持費 | 12,231円  | 13,704円  |

ところが、整備や修理などの自動車の維持費は、93年の1万2231円から03年には1万3704円に上昇。月平均で約1500円の増加です。93年からの10年間で消費支出が9.7%減るなか、自動車の維持費は12.0%も増えているのです。

前回お伝えしたように、乗用車の“平均寿命”は約11年となり、代替サイクルは長期化。しかも、ミニバンやコンパクトカー人気で単価も安くなっています。ディーラー側からすれば利益幅の縮小は否めません。



そこでサービス部門の強化は必須となるのですが、反面、サービス工場の整備や従業員の増員など投資も必要。コスト削減が求められるなか、どうバランスをとるか難しいところです。でも、消費者の動向をみればあきらかに整備・修理志向がうかがえます。不況がいわれ続けたなかで、自動車維持に費やす支出が12%も伸びているのですから。

**1月の自動車月間販売台数**

中古車は登録ベース

| 新車       | 総合計     | 登録車合計   |         |         | 軽自動車合計  |
|----------|---------|---------|---------|---------|---------|
|          |         | 普通乗用車   | 小型乗用車   | 普通貨物車   |         |
| 販売台数(台)  | 260,966 | 260,971 | 88,066  | 140,039 | 130,976 |
| 前年同月比(%) | 95.9    | 95.9    | 90.2    | 105.2   | 99.2    |
| 中古車      | 総合計     | 登録車合計   |         |         | 軽自動車合計  |
|          |         | 普通乗用車   | 小型乗用車   | 普通貨物車   |         |
| 登録台数(台)  | 329,741 | 128,342 | 157,161 | 13,253  | 21,913  |
| 前年同月比(%) | 92.8    | 97.6    | 89.4    | 96.9    | 90.3    |
| 輸入車(新車)  | 総合計     | 登録車合計   |         | 軽自動車合計  |         |
|          |         | 外国メーカー  | 逆輸入     | 普通貨物車   | 小型貨物車   |
| 販売台数(台)  | 13,411  | 12,184  | 1,227   | 1,227   | 1,227   |
| 前年同月比(%) | 87.5    | 93.1    | 54.6    | 54.6    | 54.6    |

出展  
新車 中古車は日本自動車販売協会連合会  
輸入車は日本自動車輸入組合

## 自賠責保険料が4月から 2150 円増 20 年ぶりの大幅値上げ

自動車の保有者が加入を義務づけられている自賠責保険の負担額が、4月から20年ぶりに引き上げられることになりました。

首相の諮問機関である「自動車損害賠償責任保険審議会」は、保険料負担を自家用車の2年契約で2150円値上げして2万9780円(沖縄県・離島を除く)とすることを決めました。軽自動車の場合は1640円値上がりし2万4180円となります。

これまで国が保険料の一部を補てんしてきましたが、4月から国の補助を段階的に廃止。自動車ユーザーや運輸業界に配慮して引き上げ幅は半分程度圧縮したものの、1985年4月以来20年ぶりの大幅な負担増となります。

## 運送事業者の事故報告義務の範囲拡大

自動車のリコール情報を確実に把握していくため、国土交通省は2月から、運送事業者に対して故障により自動車の運行ができなかった場合の報告を義務づけています。

従来は、かじ取り装置、制動装置、車枠、車軸、車輪、またはシャシバネの破損・脱落により自動車の運行ができなくなった事故について、自動車事故報告書を国土交通大臣に提出しなければならないとしていました。

改正後は、車両故障により自動車の運行ができなくなった事故について、自動車事故報告書の提出が義務付けられています。これにより、事故報告書の提出が必要な事故の範囲が拡大されています。



## シック・カー対策で業界独自の取り組み

日本自動車工業会が、大気汚染や人体への悪影響が懸念される揮発性有機化合物(VOC)の使用を減らすため、自主的な取り組みを始めます。

ホルムアルデヒドやトルエンなどVOC13物質について車内の濃度指針値を定め、2007年度以降発売の新型乗用車から対応。商用車でも2008年度以降から対応する予定です。

頭痛などの症状を起こす「シックハウス症候群」が話題になり、すでに住宅では有害物質の使用について法的に制限されています。自工会の取り組みを機に、車でも健康に配慮した開発が進みそうです。

## 250cc 超の二輪車車検、初回3年へ

規制緩和の一環として、国土交通省は排気量250cc超の二輪車を対象に、新車の車検期間を初回に限り2年から3年とする方針を固めています。2006年の通常国会に道路運送車両法の改正案を提出する考えで、実施は同年の夏以降になりそうです。

外部の識者らでつくる国交省の調査検討委員会が、二輪車の車検延長は事故の増加がほとんどないとして認められたもの。初回4年への延長は見送る方向で調整。

最終決定は、利用者らの意見を聞いて行われます。



## Auto - Events

### 大阪万博と日本車 21世紀が未来だった時代 展

会場:トヨタ博物館 会期:2月27日まで

1970年の大阪万博を振り返りながら70年代に活躍した国産車を11台展示する。

### 国際オートアフターマーケット EXPO 2005

会場:幕張メッセ 会期:3月3日 - 6日

B to Bのトレードショー。国内外の有力企業が300社以上出展。補修部品やリサイクルパーツ、用品・アクセサリをはじめ、カーディテイルング関連資材や軽補修・リペア/整備関連の出展まで幅広くビジネス提案。

### 大阪アウトドアフェスティバル 2005

会場:インテックス大阪 会期:3月5日・6日

キャンピングショーをはじめアウトドア関連の一大イベント。「World Car Pit 輸入車フェア」同時開催。

### NAGOYA オートトレンド 2004

会場:ポートメッセなごや 会期:3月18日 - 20日

ドレスアップカーやチューニングカー、輸入製品などの展示。

## 自動車登録-実例集

### ● 家族間の名義変更でも 取得税がかかるのでしょうか？

Q. Aさんは、現在同居している父親名義のクルマを譲り受けることになりました。そこで、業者の



方に依頼して名義変更の手続きをしたのですが、同居している家族間の名義変更でも、自動車取得税がかかるのでしょうか？

A. はい、かかります。

課税対象車であれば、たとえ同居の家族間といえども、取得時に課税されます。ただし、相続によって自動車を取得した場合は課税されません。

なお、自動車取得税は、車種やグレード、新規登録時からの使用年数、さらに取得時の価格によって決まります。

自動車の名義変更等は、登録の専門集団である当事務所まで、ご相談ください。



### 信頼できるスタッフを派遣

神戸発の人材派遣会社セッテソーニは、自動車ディーラーを中心にスタッフの派遣を行っています。お気軽にご相談ください。スタッフ応募も受付中！

#### セッテソーニ 株式会社

神戸市中央区京町 79 番地 日本ビルヂング 3 階 301 号  
Tel 078-331-7100 Fax 078-331-7102  
<http://www.settesogni.co.jp/>

### 事業の立ち上げをサポート

「なにかを始めたい！」とお考えのあなたを応援！NPO活動や運送事業、建設業、風俗業などを中心に、私たちは事業の立ち上げのご相談を承っています。まずは、お気軽に担当までご連絡下さい。

#### アーリア行政書士法人

担当：小井（コイ） 電話 078-453-3335

e-mail [info@morimotozimu.co.jp](mailto:info@morimotozimu.co.jp)

### 編集後記

#### 免許保有の高齢者が急増、事故も増加

65 歳以上の高齢者で、運転免許を持っている方が目に見えて増えています。あと 7-8 年もすると団塊の世代も 65 歳になっていきます。自動車産業はこの世代とともに成長したわけですから、高齢の免許保有者はさらに増えることでしょう。



ただ問題なのは、高齢ドライバーによる交通事故の割合も増加していること。数十年間をクルマと過

ごしてこられただけに、その自信や安心がかえってアダになる場合もあるようです。

#### ブースターケーブルはエンジン回転数 2000 で

今年は各地で記録的な大雪。2 月いっぱい気温も平年を下回り、寒さが厳しいとの予報がでています。

さて、冬にバッテリーが上がったという話をしばしば耳にします。こんなときに役立つのがブースターケーブルですね。

でも、つなぎ方を理解している人は意外と少ないようです。注意点としては、救援車のエンジンを 2000 回転くらいに保って数分間充電、そのあとで故障車のエンジンをかけてください。いきなりかけるとコンピュータ系統が壊れる場合もあるのでご注意ください。



### 発行 / アーリア行政書士法人

〒658-0024 神戸市東灘区魚崎浜町 33  
兵庫陸運支局西隣（兵庫県自動車会館2階）  
Tel.078-453-3322 Fax.078-453-3046  
HP. <http://106951.com>